

藍住町立藍住南小学校

1 学校の概要

- ① 児童数 652名
- ② めざす児童像
 - ・物事への興味・関心が旺盛で、根気強く学ぶ子ども
 - ・自分自身と周りの人を大切にする心を持った子ども
 - ・困難に打ち勝ってなお疲れない心身の強さを持つ子ども



2 行動方針

- ① 節電につとめます。
- ② 学校におけるごみの分別につとめます。
- ③ エコキャップを回収し、企業に寄付します。
- ④ 古紙回収の活動に家族で参加し、リサイクルの意欲を高めます。

3 行動

① 節電



各学年のトイレに電灯が付いている間、音楽が流れる節電オルゴールを設置しています



環境委員会が見回りをして節電・節水を呼びかけたり、ポスターを掲示したりしています



昨年度と比較できるように月ごとの電気使用量と水道使用量を掲示しています

② ごみの分別



ごみの分別ができるように2種類のごみ箱に分けています

③ エコキャップ回収



環境委員会がペットボトルキャップとプラタブの回収をしています



各学年のワークルームに回収箱を設置しています

④ 古紙回収



保護者、地域の方々のご協力のもと、学期ごとに年3回の「リサイクルキャンペーン」を行っています

4 具体的効果

- ◆ 全てのトイレに設置してある節電オルゴールは、電気を消すまで音楽が鳴り続けるので、トイレの電気の消し忘れはほとんどない。消し忘れていても教室まで音が届くので、すぐに気づき消すことができている。
- ◆ ペットボトルキャップとプラタブの回収活動は今年で8年目を迎えた。環境委員会が活動を受け継ぎ、月1回の回収活動の際は、回収箱に入りきらないほどの数が集まっている。
- ◆ 地域の徳島新聞藍園専売所と協力して行っている年3回の古紙回収活動も7年目を迎え、地域や保護者の方々にも周知され、協力者や回収される古紙の量も増えてきている。

5 改善点

- ◆ 環境委員会の見回り活動は継続して行うことができているが、個人的な呼びかけに留まっているので、今後は集会で呼びかけたり、各教室を回ったりするなど、組織的な活動を計画していきたい。
- ◆ ペットボトルキャップやプラタブの回収は順調に行うことはできているが、「回収週間」や「キャンペーン」等を企画するとより多くの数が集まると考えられるので、再認識ができるように話し合っていきたい。